

## Veritone Integration

### Veritoneについて

Veritoneは、エンタープライズAIソフトウェア、サービス、およびアプリケーションのリーダーであり、企業の業務を変革し、今日のデジタル情報の複雑さを解決するのを支援しています。強力なAIソリューションと豊富なパートナーエコシステムにより、Veritoneの顧客は現在および将来の課題に対処し、より効率的に実行し、意思決定を加速し、競争力を獲得することができます。

### 問題点

Veritone aiWARE Enterprise AIプラットフォームは、音声、動画、テキストとその他のデータソースを実用的なインテリジェンスに入り込むために、世界の情報を取得・監視・分析・抽出・理解し、多様な機械学習モデルのエコシステムを運用しています。

Veritoneは、注釈ツールをソフトウェアプラットフォームに統合する上で、データのラベル付けに関する専門知識を提供できるパートナーを見つける必要がありました。市場で優れたツールを徹底的に調査した後、VeritoneはBlueEyeと提携して、注釈ツールをシステムに統合することを決定しました。

Veritoneのソフトウェアプラットフォームには統合に関する非常に特殊な要件があり、プラットフォーム内で複数のファイル種別と多くの注釈機能をサポートする必要があったため、最初は非常に困難でした。

### BlueEyeのソリューション（ビジネス面）

統合されたツールには、テキスト、画像、音声、動画などの複数のタイプのメディアをサポートしました。また顔検出、物体検出、動画/音声スピーカー分離のサポートなどの幅広い機能で注釈速度を最大10倍に向上できるスマートツールと超大型画像注釈機能が含まれていました。

ツールを適用した後、画像あたりのラベル付け時間は70%以上短縮され、必要なレビューと修正ははるかに少なくなりました。Veritoneは、プラットフォーム内で使用される特定の入力および出力形式を必要としたため、BlueEyeはその要件に準拠するためにいくつかの特定の出力形式を作成する必要がありました。

このプロジェクトの成功は、BlueEyeプラットフォームのツールと機能を変更および拡張して、顧客の要件と基準を満たすことがいかに簡単であるかを証明しています。

## BlueEyeのソリューション（技術面）

当社の技術スタックには、フロントエンド開発用のReactJS、React Hooks、Redux、およびバックエンド開発用のNodeJs（Express）、Golangが含まれます。また、バックエンドとフロントエンド間のリアルタイム通信にはHTTPの他、Websocketも使用し、マイクロサービス間の低遅延、高スループットの通信にはgRPCとKafkaを使用しています。また、データ層ではPostgreSQLとRedisを使用しています。システムはAWSクラウドにデプロイされます。スマートで予測可能な自動スケールリングメカニズムを備えたKubernetes（EKS）を使用したマイクロサービスアーキテクチャを適用しています。

当社の高度なテクノロジーと豊富な経験は、ClarifyなどのVeritoneのソフトウェアに簡単に統合するのに役立ちました。マイクロフロントエンドアーキテクチャを使用することで、Veritoneのアプリに機能を簡単かつ依存性の低い統合することができました。安全で高性能なバックエンドシステムも、統合プロセスを安全かつシームレスにする重要な要素です。

以下はアーキテクチャ図です。

## 統合フロー

BlueEye

